



# くるめっ子通信

## 1人1台パソコンによる授業がスタートします



モデルとして先行導入している南薫小学校、荒木中学校の授業の様子

## ～パソコンは令和の新しい文房具～

### 校内通信ネットワーク

すべての市立学校に、高速大容量の無線LANが整備されます。教室や体育館でインターネットが使用できます。

### 1人1台パソコン

子ども一人ひとりが、1台ずつパソコンを使えるようになります。久留米市では、市立小中学校にChromebook（クロームブック）、特別支援学校にiPad（アイパッド）を配備します。

### Googleパートナー自治体プログラムに参画

Google（グーグル）社と協力して、中高生向けにインターネットリテラシー教育などを行います。



教室の天井に設置されたアクセスポイント



Chromebook（クロームブック）

## Chromebookとは？

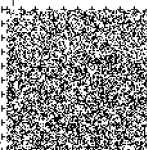
Google（グーグル）社が開発したパソコンです。

**高速** 数十秒で起動！授業中、すぐに使用できます。

**丈夫** 子どもたちが使うことを想定し、頑丈なつくりになっています。

**安全** 何重ものセキュリティが不正なウィルスの侵入を防ぎます。

**安心** データは、パソコン本体ではなく厳重に管理されたクラウドに保存されます。



# 授業はこう変わっていきます。

授業でパソコンを使うことで、子どもたちの力を最大限に引き出します。

これまで

これから

発表が苦手な子は、なかなか発言できない。

共同編集機能で、誰でも考えを伝えることができる。

話し合い活動が活発になります。



調べ活動の時に、ほしい情報が見つからない。

インターネットを使って、目的に合った情報が選べます。

調べ学習が活発になります。



学級全員が同じ進度、同じ課題に取り組む。

学習ドリルソフトで、各自の理解に応じた学習ができます。

より理解度に応じた個別学習になります。【参考】文部科学省「学びのイノベーション事業実証研究報告書」



## 「1人1台」導入についてのQ&A

### Q1 何年生から使うのですか。

小学校低学年から使用します。写真撮影やドリルソフトなど操作が簡単なことから始めます。

### Q2 どの教科で使うのですか。

学習の目標に応じて、どの教科でも使います。

### Q3 子どもが授業以外のことに使いませんか。

使用を始める際に、ルールを確認します。また教師のパソコンから、子どもたちの画面をモニタリングし、ロックをかけることができます。

### Q4 家庭に持ち帰って使うこともありますか。

まずは学校で操作に慣れることから始めます。家庭で使用するには、Wi-Fi環境が必要となりますので、ご家庭の通信環境を見ながら、慎重に進めていきます。

### Q5 動画の閲覧やゲームもできるのですか。

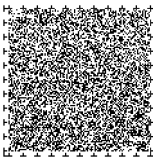
子どもたちのパソコンからは、動画サイトを見ることはできません。視聴が必要な時は、教師のパソコンから見せるようにします。有害サイトは個別にブロックするようになっています。ゲームができるサイトもブロックの対象です。

## ご家庭へのお願い

スマートフォン・タブレット・パソコン等は、ゲームやSNSの利用だけでなく、学習するための道具としても活用していくこととなります。ご家庭でも、お子さんと使用のルールについて話し合ってみてください。

### インターネットの危険性の例

- インターネットやSNSに書き込んだことは、望んでいなくても見知らぬ人に知られることがあります。
- 一度発信したことは、必ずどこかに記録が残り、完全に消すことはできません。
- インターネットには、本当ではない情報を書いているサイトも多くあります。





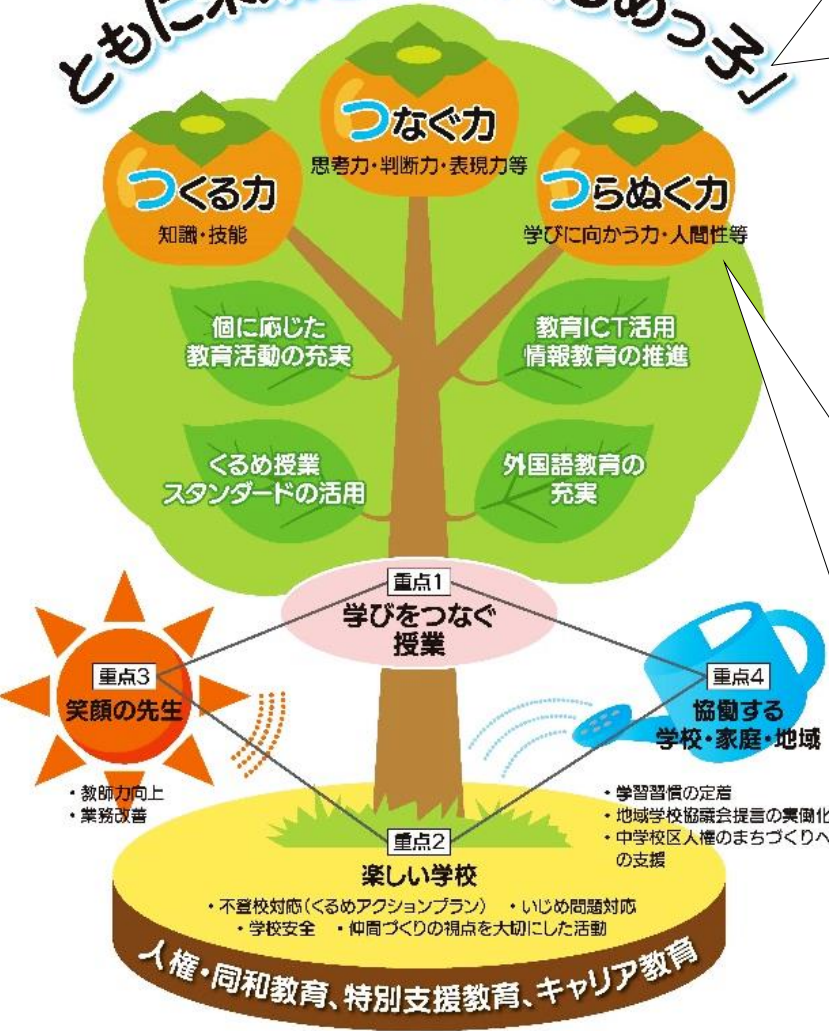


久留米市教育振興プランに基づき

取り組みをすすめています！

〈教育振興プランの概要図〉

ともに未来を創る「くるめっ子」



### プランの目標

ともに未来をつくる  
「くるめっ子」の育成

自ら問いをもち、まわりの人々と協働しながら「ふるさと久留米」に愛着と誇りをもった子どもの育成を目指します。

### はぐくむ3つの力

つくる力・つなぐ力・つらぬく力

#### 〇つくる力(知識・技能)

獲得した知識・技能を他の知識技能と組み合わせて様々な場面で活用していく力

#### 〇つなぐ力

(思考力・判断力・表現力)

自ら問題を発見し、他者と協力しながら問題解決して、その過程を振り返る力

#### 〇つらぬく力

(学びに向かう力・人間性)

夢や目標、前向きな意欲、困難を乗り越える強い意志、簡単に折れない柔軟性等。それを支える心身ともに健康な体や体力

### 4つの重点

#### 重点1 学びをつなぐ授業

子どもが「自ら学びたくなる、わかる・できる喜びを味わう」授業づくりを進めます。また、1人1台PC端末を効果的に使いながら、学びの基盤となる情報活用能力を育てます。

#### 重点2 楽しい学校

いじめ問題や不登校の未然防止、早期発見、早期対応を徹底し、だれもが安心して学べる学校生活を送れるようにします。

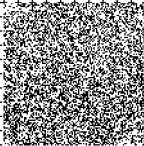
#### 重点3 笑顔の先生

教職員の働き方に対する意識改革や業務改善、学校を支える専門スタッフの活用により、子どもに接する時間を十分確保し、笑顔で子どもたちに向き合う先生の環境づくりを進めます。

#### 重点4 協働する学校・家庭・地域

全小中学校に設置している地域学校協議会を支援し、地域と学校の協働活動を進めます。また、地域コミュニティと学園コミュニティを両輪とした人権のまちづくりをさらに進めます。

4つの重点の実現にあたっては、人権・同和教育、特別支援教育、キャリア教育の視点を取組の土台にすえます。





# 全ての子どもたちが安心して学べるように 多様な教育の機会を確保していきます

久留米市立小中学校では、子どもたちが豊かな学校生活を送り、安心して教育を受けることができるように、学校の環境整備や個々の状況に応じた必要な支援を行っており、適応指導教室「らるご久留米」や民間のフリースクールと連携しながら、学校以外の場での多様な教育の機会を確保していきます。

## 【校内適応指導教室】

久留米市立の全ての中学校に、校内適応指導教室を設置し、支援スタッフを配置しています。

利用する生徒に校内での居場所をつくり、学習指導や教育相談、進路指導を行っています。

(問合せ先) 各学校の担任の先生



校内適応指導教室



適応指導教室「らるご久留米」

## 【適応指導教室「らるご久留米」】

利用する児童生徒に対して、様々な体験活動や学習指導、また、臨床心理士によるカウンセリングを行っています。

心の安定や心のエネルギーの回復、さらに自信の構築や基本的生活習慣の改善に努めています。

(住所) 久留米市野中町1074番地1

(問い合わせ先) 適応指導教室「らるご久留米」

0942-35-3869

## 【民間のフリースクール】

久留米市内には、児童生徒が通っている民間のフリースクールがあります。

「学校の教育課程に準じる学習が行われている」「学校と継続的に連携している」などの一定の条件が満たされれば、各校長の判断により出席扱いとできます。利用料金は自己負担となります。詳細は各学校又は教育委員会にお尋ねください。

(問い合わせ先) 久留米市教育委員会 学校教育課 0942-30-9217

## 久留米市公式LINEアカウントに登録しませんか？

久留米市公式LINEでは小・中・高校生向けに各教科の問題をクイズ形式で出題するLINEスタディを使用できます。アカウント名やQRコードから、友達追加をしてお試しください。

市LINEと友達になる！

久留米市 LINE 検索

【アカウント名で検索】

@kurume-city

【QRコードで検索】

